今、何が変わる中学校

文化祭で生徒会中心に大きなエネルギーが

あの時の感激をもう一度

文化祭のアンケート調査をしたら、少数意見であったが演劇という声があり、生徒会で議論した結果、今までとは変わった文化祭にしたいということで企画をしたそうです。

最初の、役者（二十二人）・裏方（十人）集めから、セリフの稽古・立ち稽古と毎日の練習を進め、十一月一日の文化祭に演劇「グッド　バイ　マイ……」を上演することができました。

演劇は、四人の生まれる前の人達が、自分の未来を知って、生まれるか、消えてなくなるかを選択、死んでしまうか、いじめられてしまうかと悩んだすえ、最後にはやっぱりみんなで生きようという内容です。

この演劇を生徒会を中心に出演者も裏方も体当りで演じきり、生徒自身や保護者も涙をさそうほど感動し、拍手がなりやまないほどでした。

その後、感動した手紙も届いたそうで、演劇に携わった全員も感動し、つらいことがすべてふっとんだと言っていました。

ところで、生徒会では、再演の要望が多かったため、次のとおり、再演することに決めました。

当日、観覧された方は、あの時の感激をもう一度ということで、観覧されなかった方もぜひ上演会にご来場して下さいと言っていました。

○日時　十二月十日(水)
　　午後七時
○会場　中学校体育館

観客に感動を与え、再演が決まった演劇

生徒会役員の声

・全校の力が向上した文化祭で、特に一年生が頑張ってくれた。
・今年の文化祭はやりがいがあって一番楽しかった。来年もこういう文化祭にしたい。
・生徒会に関心をもつ人が増えた。
・今の中学校は、評判がよくないと言われるが、みんないい心を持った人ばかり。本当の中学生の姿をみてほしい。

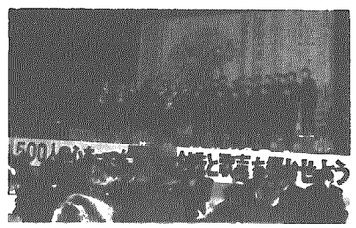
文化祭の議論をする生徒会

五百人の心を一つに　創造と歌声を響かせよう

文化祭に向け、各学年ともクラス毎に練習した合唱の成果を文化祭の合唱コンクールで競いあい、美しいハーモニーを体育館に響かせ、観客を魅了していました。

なお、結果は次のとおり。

一年一位一組　小さな木の実
二年一位二組　遠い日の歌
三年一位三組　親知らず子知らず


観客を魅了した合唱コンクール

今、中学校に新たなエネルギーが

ステージに大きな波と浮かぶ船のデザインは、葛飾北斎の富士をもとに美術部が考案した。波は、今年から中学校に新しい波がおこったという意味で、船は、船に乗った冒険者という意味。

ところで、生徒会を中心に各クラスに呼びかけ、壁画をつくるのに必要な空缶四千八百個を集め始めたが、当初は、なかなか集まらず、必死の努力で五千個も集めることができた。そのみんなの力が一つの壁画になった。

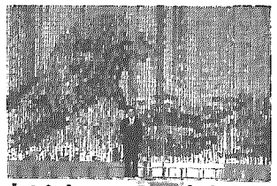
作成手順は、空缶を洗って上と下に穴をあけ、空缶の裏に番号を書き、針金を上下に通して、色をつけ完成させたもの。

文化祭三週間前からは、毎朝七時三十分に登校し、夕方は六時頃まで頑張ったと言う。文化祭前々日と前日には、夜八時すぎまで頑張り、やっとの思いで完成にこぎつけたそうだ。

最後に、今年の行事のなかでは、文化祭が一番燃えたと言う。

また、できあがって一人ひとりが自分たちの力でやったんだと生徒自身感激していた。

なお、空缶は、後日、「のぎくの家」に寄付する予定。



葛飾北斎の波うらの富士を背景に挨拶する小林豊雄校長

日報杯バレー　善戦　堂々の準優勝

十一月八日(日)、新潟市体育館で新潟日報創刊五十周年記念婦人バレーボール新潟県大会が開催されました。

この県大会に、地区予選会百八十チームのママさんの代表、十八チームが参加。

横越クラブは、三市二郡の地区大会を優勝して県大会の出場資格を得ました。

県大会では、一回戦は、中越地区代表、長岡市のファイヤーズに2－1と苦戦したものの、二回戦には、上越地区代表、上越市のひがしクラブを、準決勝では、阿賀北地区代表、豊浦町のとようらをそれぞれ2－0でストレートで下し、決勝に進出。

決勝戦は、中越地区代表、六日町の六日町マミーズと対戦、善戦し、2－0で敗れたものの堂々準優勝に輝きました。

力強く入場行進する横越クラブ

芸術の秋を満喫

中央公民館文化祭

十一月三日、四日の二日間中央公民館主催による文化祭が開催され、大勢の人で賑わいました。

愛好者の見守る中、菊花展を審査

書道、表装、絵画、水墨画などの力作ぞろいの作品展や陶芸教室・籐ずる教室の皆さんの作品展示とチャリティ、九月に行われたNHK特別巡回ラジオ体操会の写真展、菊花展などと多彩な催しものとなりました。

なお、菊花展成績結果は次のとおりです。

◎総合成績
一位　新田見　光雄
二位　阿部　定雄
三位　遠藤　ミヨイ

◎作品賞
▽村長賞　阿部　定雄（三幹立　管物）▽議長賞　新田見　光雄（数立　厚物）▽教育長賞　阿部　ショ（一幹花壇）▽教育委員長賞　伊藤実（競技花　厚物）▽公民館長賞　伊藤　実（数立　管物）▽農業委員会長賞　市村　文雄（三幹立　厚物）▽農協組合長賞　阿部　定雄（競技花　管物）▽商工会長賞　遠藤ミヨイ（小菊）▽文化協会長賞　新田見　光雄（福助　厚物）▽社会教育委員長賞　金川　良弥（福助　管物）▽公民館運営審議委員長賞　新田見　光雄（ダルマ）

杉本・鈴木ペアが優勝　村民テニス大会

小春日和を思わせる十一月十五日、木津工業団地のテニスコートで中央公民館主催の村民テニス大会が開催され、十七チームが参加。試合方式は、ミックスダブルスで6ゲーム先取。

なお、結果は次のとおり。

優勝　杉本・鈴木ペア
準優勝　谷沢・中村ペア
第三位　笹川・本間ペア
第三位　中川・佐藤ペア

社会教育ガイド

12月の中央公民館事業
〈会場は中央公民館〉

■パソコン教室
期日　11月30日(月)～12月4日(金)
時間　午後7時～9時

■絵画教室
期日　12月7日(月)、12月21日(月)
時間　午前10時
講師　上野キミ氏

■婦人大学
期日　12月16日(水)
時間　午前10時
内容　「正月料理の実習」
講師　本間徳和氏

■婦人教養セミナー
期日　12月19日(土)
時間　午前9時30分
講師　高橋ハナ氏

■くらしの書
期日　12月22日(火)
時間　午後1時30分
講師　小木光興氏

■高齢者大学
期日　12月中旬
時間　午前10時
内容　クラブ活動
講演　前垂紙の作成

■第6回亀田、横越剣道大会
期日　12月13日(日)
時間　午前8時20分
会場　横越村農村環境改善センター

文芸欄

俳句

（公募作品高点句者）

句題　秋澄む、萩、蝗（いなご）

第一位　秋澄むや保母の呼笛よく透る　（二本木）　坂井美峰
第二位　渡舟場の後に碑が建ち萩の花　（木津）　石井楽秋
第三位　飛び石の濡れざるものもあり萩の雨　（木津）　佐藤々泉
第四位　写生子の絵筆に飛びし蝗かな　（二本木）　坂井美峰
第五位　おにぎりの海苔の香りや秋澄みし　（二本木）　坂井美峰
第六位　県庁の遠くに見えて蝗捕り　（二本木）　藤崎春月
第七位　乱れ萩無人の家に手水鉢　（横越）　市村湖月
第八位　訪う人もなき尼寺のこぼれ萩　（横越）　神田恵子
第九位　秋気澄む屋上に押す車椅子　（横越）　神田斗子
第十位　バス停のささくれし椅子蝗這う　（横越）　市村湖月

俳句募集

▶句　題　師走（しわす）、凧（こがらし）、茶山花（さざんか）
▶締切日　12月15日(火)
▶投稿方法
はがきまたは封書で6句以内、紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記
▶あて先　横越村中央公民館「文芸作品係」

JA横越村主催　第4回綱引大会結果

11月15日＝横小体育館

○男子（20チーム参加）
優勝　ありのみファイターズ（二本木）
準優勝　小杉下
第三位　沢海第一
敢闘賞　木津連合農家組合
○女子（10チーム参加）
優勝　さくら会（横越）
準優勝　木津中B
第三位　JAレディース
敢闘賞　ありのみレディース（二本木）